

平成 31（2019）年度事業計画について

平成 31（2019）年度は、先に策定した中長期計画の中間年として計画の進捗等の確認、体系的整理を進めつつ、各事業を着実に実施することにより、国際花と緑の博覧会（以下「花の万博」という。）の理念「自然と人間との共生」の一層の継承・発展を図る。

具体的には、第 27 回目の顕彰となるコスモス国際賞や助成・協働事業に加え、次世代を担う青少年を対象とした事業の展開を図るとともに、2020 年の花の万博 30 周年記念事業の企画、北京国際園芸博覧会やパリでの日仏学際的対話への参画を進める。

また、花の万博 30 周年等に合わせ、各資料、情報のアーカイブ化も進める。

なお、経済状況が厳しい中、限られた財源ではあるが創意工夫するとともに、特定費用準備資金制度を活用して、予算の平準化に努める。

1. 顕彰事業

(1) コスモス国際賞

花の万博の「自然と人間との共生」という理念に合致する研究活動や業績を顕彰する 2019 年のコスモス国際賞（第 27 回）事業を実施する。また、第 28 回目となる 2020 年コスモス国際賞の準備を進めていく。

(2) B I E コスモス賞

博覧会国際事務局（BIE）が実施し、当協会が協力する「BIE コスモス賞」については、平成 30 年度に実施した効果検証をふまえ、2020 年ドバイ万博での実施に向けて BIE との調整を進める。

(3) 全国花のまちづくりコンクール

花の万博を契機に、「花とみどりの国づくり及びまちづくり」（提唱：農林水産省及び国土交通省）を目的として創設された「花のまちづくりコンクール」については、推進協議会に参画し、実施する。

2. 助成・協働事業

(1) 花博自然環境助成事業（調査研究、活動・行催事、復興活動支援）

花の万博理念の継承発展及び普及啓発に資する「調査研究」、「活動・行催事」及びに被災地における「復興活動支援」のため、公募による助成事業を実施する。

(2) 地域協働事業

「歴史の道みどりの拠点づくり」については平成 30 年度に採択した 1 件について実施する。平成 31 年度の募集については、花博自然環境助成事業に統合し実施する。

平成 29 年度から助成事業成果発表会と緑の交流広場と統合し、市民活動団体等の交流を目的とした「花と緑の交流広場」(呼称「自然と人間との共生フェスタ」)を実施する。

3. 普及啓発事業及び国際交流事業

(1) 次世代育成事業

協会事業に係る学者、知識人等を講師として小学校へ派遣する「小学校講師派遣事業」については、近年の申請数増に対応するため派遣数を増やすと共に、山野で生き物を調査・観察する「自然観察教室」、毎日新聞社との共催による「校庭・園庭における生態園づくり」を引き続き実施する。また、2020 年度の公募の準備を行う。

また、幼・保育園児に自然に親しむ機会を提供する「鶴見緑地昆虫クエスト大作戦」を引き続き実施する。

(2) 花育推進事業

花や緑を児童教育等の中に取り入れることを目的とした「花育活動」の推進のため、花育推進セミナー・交流会、花育ワークショップの開催等を支援する。

(3) 都市緑化推進運動等への協力事業

都市公園の整備、民有地の緑化により都市における豊かな生活環境の実現を目的とする「都市緑化推進運動」、及び住民参画のもと創意・工夫を生かしたまちづくり推進を目的に実施される「まちづくり月間」に協力する。

(4) 普及啓発事業

花の万博開催の地元である大阪で開催される「大阪都市緑化フェア」や「はならんまん」などの普及啓発イベントに協力するとともに、みどりのまちづくりに貢献する美しい景観となっている建物や緑化活動を表彰する「みどりのまちづくり賞」に参画する。

また、「コスモス国際賞受賞記念講演会」を東京、大阪で高校生や一般を対象に開催するとともに、コスモス国際賞受賞者が出席するパリでの日仏学際的対話への参画及び 2020 年の花の万博 30 周年記念事業の企画、準備を進める。

情報発信については、2020 年の花の万博 30 周年、2021 年の当協会設立 30 周年等に合わせ、花の万博資料や記念協会の蓄積情報をアーカイブとして展開する他、情報誌「KOSMOS」の発刊やソーシャルメディアを引き続き活用する。

(5) 国際交流事業

2019 年に中国の北京で開催される国際園芸博覧会への政府出展に協力する他、自然豊かな台湾で、日台の高校生が博物館の研究者と共にフィールドを巡る「高校生のための生き物調査体験ツアー in 台湾」を継続実施するとともに 2020 年度の公募の準備を行う。

4. 調査研究・資料収集事業

生物多様性等に関する調査

花の万博の理念継承に資する生物多様性の保全や、動植物の生息地や保存等に関する情報収集等を行うとともに平成 28 年度に作成した小冊子「日本固有植物に学ぶ 自然のしくみと共生の知恵」を活用して、引き続き成果を広く発信していく。

また、関西の企業や博物館、市民団体による「生物多様性協働フォーラム」に参画し、各情報の収集等を実施する。

平成31年度収支予算書（損益計算方式）

平成31年4月1日 から 平成32年3月31日 まで

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額 【補正後】	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益				
基本財産受取利息	6,500,000	7,526,000	△1,026,000	
特定資産運用益				
記念基金受取利息	233,500,000	238,474,000	△4,974,000	
受取寄付金				
受取寄付金振替額	4,000,000	4,000,000	0	
経常収益計	244,000,000	250,000,000	△6,000,000	
(2) 経常費用				
事業費	198,206,100	201,818,900	△3,612,800	
役員報酬	8,402,800	8,330,000	72,800	
給与手当	40,602,000	40,555,200	46,800	
法定福利費	7,704,000	7,563,000	141,000	
退職給付費用	1,922,400	1,288,000	634,400	
賃金	243,600	33,600	210,000	
職員厚生費	285,000	431,200	△146,200	
会議費	2,155,300	2,053,100	102,200	
旅費交通費	9,631,930	8,844,080	787,850	
通信運搬費	3,030,020	3,127,320	△97,300	
消耗什器備品費	70,000	70,000	0	
委託費	31,745,000	25,042,500	6,702,500	
消耗品費	1,538,600	1,332,800	205,800	
修繕費	910,000	1,043,000	△133,000	
印刷製本費	2,124,500	2,283,400	△158,900	
光熱水料費	2,772,000	2,772,000	0	
賃借料	4,469,500	4,478,600	△9,100	
使用料	2,548,000	2,838,500	△290,500	
諸謝金	6,522,250	6,618,500	△96,250	
負担金・会費	14,485,000	24,635,000	△10,150,000	
助成金支出	15,458,000	17,000,000	△1,542,000	
租税公課	44,800	44,800	0	
手数料	602,000	602,000	0	
賞金支出	40,000,000	40,000,000	0	
保険料	203,000	203,000	0	
雑費	736,400	629,300	107,100	

科 目	予算額	前年度予算額 【補正後】	増 減	備 考
管理費	72,293,900	68,721,100	3,572,800	
役員報酬	3,601,200	3,570,000	31,200	
給与手当	31,278,000	31,284,800	△6,800	
法定福利費	5,512,000	5,437,000	75,000	
退職給付費用	1,477,600	1,012,000	465,600	
賃金	104,400	14,400	90,000	
職員厚生費	215,000	338,800	△123,800	
会議費	923,700	879,900	43,800	
旅費交通費	4,127,970	3,790,320	337,650	
通信運搬費	1,298,580	1,340,280	△41,700	
消耗什器備品費	30,000	30,000	0	
委託費	13,605,000	10,732,500	2,872,500	
消耗品費	659,400	571,200	88,200	
修繕費	390,000	447,000	△57,000	
印刷製本費	910,500	978,600	△68,100	
光熱水料費	1,188,000	1,188,000	0	
賃借料	1,915,500	1,919,400	△3,900	
使用料	1,092,000	1,216,500	△124,500	
諸謝金	2,795,250	2,836,500	△41,250	
負担金・会費	490,000	500,000	△10,000	
租税公課	19,200	19,200	0	
手数料	258,000	258,000	0	
保険料	87,000	87,000	0	
雑費	315,600	269,700	45,900	
經常費用計	270,500,000	270,540,000	△40,000	
当期經常増減額	△26,500,000	△20,540,000	△5,960,000	
2. 經常外増減の部				
(1) 經常外収益				
經常外収益計	0	0	0	
(2) 經常外費用				
經常外費用計	0	0	0	
当期經常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△26,500,000	△20,540,000	△5,960,000	
一般正味財産期首残高	163,530,862	139,342,897	24,187,965	
一般正味財産期末残高	137,030,862	118,802,897	18,227,965	
II 指定正味財産増減の部				
受取寄付金	4,000,000	4,000,000	0	
一般正味財産への振替額	△4,000,000	△4,000,000	0	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	10,698,831,257	10,048,944,100	649,887,157	
指定正味財産期末残高	10,698,831,257	10,048,944,100	649,887,157	
III 正味財産期末残高	10,835,862,119	10,167,746,997	668,115,122	